

井、河内川邊、常石、全隈、日下、志萬、阿波、芳賀、石上、鹿島、茨城、洗井、那珂、八部、武田、幡田等ノ二十二郷ヲ管ス、中世本郡ノ地分レテ三郡トナリ、其東邊ヲ吉田郡ト稱シ、其西北邊那珂川ヲ狹デ那珂西郡、那珂東郡ノ名アリ、文祿ノ檢地、那珂川以南ノ地、卽那珂西郡及吉田郡南邊悉ク茨城郡ニ併セラレ、更ニ久慈郡ノ北邊ヲ加ヘテ、新ニ郡界ヲ定ム、元祿ノ制之ニ仍テ改メズ、東ハ東海ニ至リ、西ハ下野、那須郡界ニ達シ、南ハ那珂川ヲ限リ、北ハ久慈川ヲ以テ、久慈郡ニ界シ、一百四十三村、十萬二千九百六十餘石ヲ統括セリ、

〔常陸紀行〕那珂郡は、仲郡とも云、常陸の西に鬼怒川ありて、東に久慈川あり、中間に那珂川ありて、卽ち常陸の中郡を東南に流れて、水府御城の東北の外郭を經歷し、東海に入る、是那珂郡の稱呼因て來れる處なり、

〔續日本紀元九〕養老七年二月戊申、常陸國那賀郡大領外正七位上治部直荒山、以私穀三千斛獻陸奥國鎮所、授外從五位下、

〔續日本紀光仁〕天應元年正月乙亥、下總國印幡郡大領外正六位上丈部原、大以下九字直牛、養常陸國那賀郡大領外正七位下宇治郡全成、並授外從五位下、以進軍糧也、

〔萬葉集二十〕天平勝寶七歲乙未二月、相替遣筑紫諸國防人等歌、

都久波禰乃、佐由流能波奈能、由等許爾母、可奈之家伊母曾、比留毛可奈之禰、阿良例布理可志麻能、可美乎伊能利都々、須米良美久佐爾、和例波伎爾之乎、

右二首、那賀郡上丁大舍人部千文、

〔常陸風土記〕久慈郡東大海、南西那珂郡、北多珂郡、陸奥國堺岳

古老曰、自郡以南近有小丘、體似鯨鯢、倭武天皇因名久慈、

〔新編常陸國誌九郡名〕久慈郡 倭名抄云、久慈古ノ久慈國ナリ、中風土記倭名抄ヲ按ズルニ、東